

湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設整備運営事業に係る公募型プロポーザルについて、1グループから応募書類の提出があり、「湖北広域行政事務センター新一般廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）」による審査の結果、最優秀提案者が選定されました。

湖北広域行政事務センターは、その結果を踏まえ、次のとおり優先交渉権者を決定したので公表します。

なお、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第11条第1項の規定による客観的評価の結果については、後日公表します。

令和4年12月12日

湖北広域行政事務センター 管理者 松居 雅人

記

1 優先交渉権者

受付番号	緑
代表企業	株式会社タクマ
構成員 (代表企業を除く)	クボタ環境エンジニアリング株式会社 大阪支社 株式会社タクマテクノス 西日本支社
協力企業	株式会社奥村組 関西支店 株式会社材光工務店 オオサワ株式会社 株式会社オオバ 大阪支店 株式会社鴻池組 京都支店 株式会社ヴァイオス 太陽技建株式会社

2 審査結果

項目	受付番号：緑
非価格要素審査の得点	94.76点／150点
価格審査の得点	50.00点／50点
合計（総合評価値）	144.76点／200点

3 選定理由

本事業への応募者は1グループでしたが、グループを構成する各企業のこれまでの実績をもとにした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、センターの要求水準を上回り、提案の効果に期待ができる内容が示されていました。

事業者選定委員会で評価された主な内容は以下のとおりです。

- 汚泥再生処理センターやバイオガス化施設を活かしたシステム連携により、複合的な効果を創出した提案が示されており、特にシステム連携により焼却施設の炉規模を縮小する提案が示されている点が高く評価された。
- 安定稼働の継続について、豊富な実績を踏まえた効果的な提案が示されており、特に様々な独自技術・最新技術の採用による安全かつ安定的な稼働実現についての提案が示されている点が高く評価された。
- リサイクル施設から回収される鉄類、アルミ類について要求水準を上回る純度、目標回収率の提案とともに、新たな資源物の回収等の提案が示されている点が評価された。
- 施設整備工事の工程管理・工法について、社会情勢や軟弱地盤にも配慮した適切かつ具体的な提案が示されている点が評価された。
- 新施設における環境学習・啓発機能のコンセプトをより具現化した具体的かつ効果的な提案が示されている点が評価された。

4 選定経過

- | | |
|---------|---|
| 令和3年11月 | 第1回事業者選定委員会 [委員会の設置、事業内容の確認、スケジュールの確認、実施方針(案)・要求水準書(案)の審議] |
| 令和4年2月 | 第2回事業者選定委員会 [特定事業の選定、優先交渉権者選定基準の審議] |
| 4月 | 事業者募集公告及び募集要項等の公表
募集要項等に関する説明会及び現地見学会
募集要項等に関する質問の受付(第1回) |
| 5月 | 募集要項等に関する質問回答の公表(第1回)
参加表明書・参加資格審査申請書類の受付 |
| 6月 | 参加資格審査結果の通知
対面对話参加申込及び募集要項等に関する質問の受付(第2回)
対面对話 |
| 7月 | 募集要項等に関する質問回答の公表(第2回) |
| 8月 | 提案時基準金利の公表 |
| 9月 | 提案書類の受付
提案価格の確認 |
| 10月 | 第3回事業者選定委員会 [参加資格審査及び基礎審査の結果報告、提案審査の意見交換、事業者ヒアリングに伴う打合せ] |
| 11月 | 第4回事業者選定委員会 [事業者ヒアリング] |
| 12月 | 第5回事業者選定委員会 [最優秀提案者の選定(最終審査)、審査講評(案)の検討] |